

評価ルーブリック（看護学大講座）

評価項目	A (25点)	B (20点)	C (15点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
看護学分野に関する高度な専門的知識・技能、情報収集能力や高度な倫理性を持って、研究を立案することができる (A)	先行研究の文献や資料を丹念に調べて研究分野に関する広範な知識を得たうえで、学術的・社会的に非常に重要な、先端的・独創的な研究テーマを設定することができる。	先行研究の文献や資料を良く調べて研究分野に関する十分な知識を得たうえで、学術的・社会的に重要な研究テーマを設定することができる。	指導教員の助言により、先行研究の文献や資料を調べて研究分野の知識を得たうえで、研究テーマを設定することができる。	看護学分野に関する知識や技能がなく、情報収集することもできないため、研究計画を立案することができない。
目標達成にむけて、科学的根拠に基づき、研究を遂行することができる (A)	研究テーマを深く探求して導き出した独創的なアイデアのもと、十分な科学的根拠に基づき、緻密で論理的な方法で自ら研究を進めることができる。	研究テーマを探求して導き出したアイデアのもと、科学的根拠に基づき、現実的な方法で自ら研究を進めることができる。	研究テーマに関心を持ち、指導教員の助言により、科学的な根拠を理解した上で、研究を進めることができる。	科学的根拠を設定することができず、目標達成に向けた調査・実験を進めることができない。
研究成果を論文にまとめることができる (A, B)	自らの研究により得た豊富なデータを、正確な根拠に基づき科学的に分析することで、新規で独創的な研究結果を導き出し、その結果と考察を整合的かつ論理的に論文にまとめることができる。	自らの研究により得た十分データを、正確な根拠に基づき科学的に分析することで、新規な研究結果を導き出し、その結果と考察を整合的かつ論理的に論文にまとめることができる。	自らの研究により得たデータを、科学的に分析することで、新規な研究結果を導き出し、その結果と考察を整合的かつ論理的に論文にまとめることができる。	データを、科学的に分析することができない、あるいは、その結果と考察を整合的かつ論理的に論文にまとめることができない。
研究成果を地域・世界に向けて積極的に発表することができる (B)	博士論文発表会で研究成果と自分の見解を明確に伝えることができ、国内外の学会と学術誌において筆頭著者として、国内外で論文要旨を英文で執筆および英語で発表し、論文を執筆することができる。	博士論文発表会で研究成果と自分の見解を明確に伝えることができ、国内外の学会や学術誌において筆頭著者として発表し、論文要旨を英文で執筆することができる。	博士論文発表会で研究成果と自分の見解を伝えることができ、国内外の学術誌において筆頭著者として発表できる。	博士論文発表会で研究成果と自分の見解を伝えることができない、あるいは、国内外の学会や学術誌において筆頭著者として発表することができない。